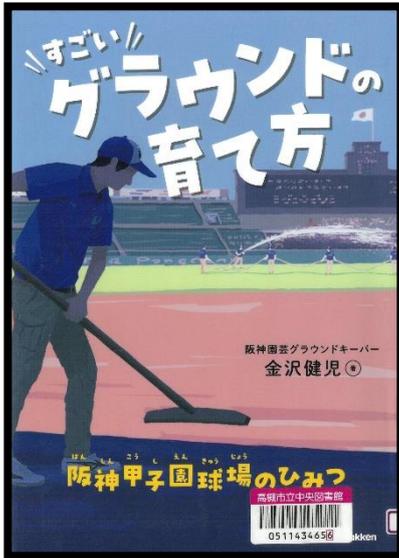


## すごいグラウンドの育て方

はんしんこうしえんきゆうじょう  
阪神甲子園球場のひみつ

特集:2023年に出版された本



かなざわ けんじ  
金沢 健児/著

Gakken [783]

2024年8月に百周年をむかえる阪神甲子園球場は「野球の聖地」であるとともに、「日本一水はけのよいグラウンド」といわれています。

グラウンドを常に選手にとって最高の状態に保つために、外野の芝と内野の土を整備するのが、阪神園芸のグラウンドキーパーの仕事です。

外野の芝生が1年中緑色のわけ、内野の土は百年前から変わっていない?など甲子園球場の「神整備」のひみつにせまります。

## カステラアパートのざらめさん



しまむら ゆうこ  
島村 木綿子/作

コマツ シンヤ/絵

Gakken[913シマ]

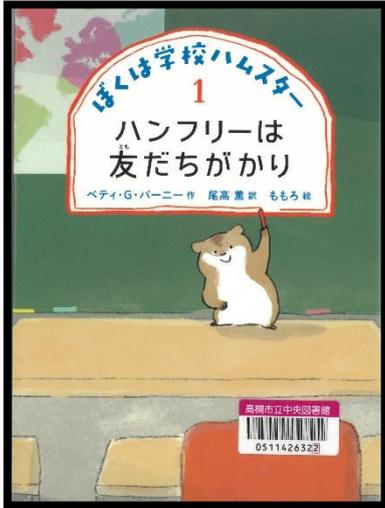
拾った子ねこを飼うために、ペットと住める家を探している、小学四年生のこのみは、カステラそっくりのアパートに引っ越します。

そこで出会った大家のざらめさんはちょっと変わり者で、魔女ではないかとうわさされています。このみは、正体をつきとめようと、ざらめさんに少しずつ接近します。

なぞの大家さんと、アパートの住人のペットたちとの交流がほのぼのと温かいお話です。

ぼくは学校ハムスター1

## ハンフリーは友だちがかり



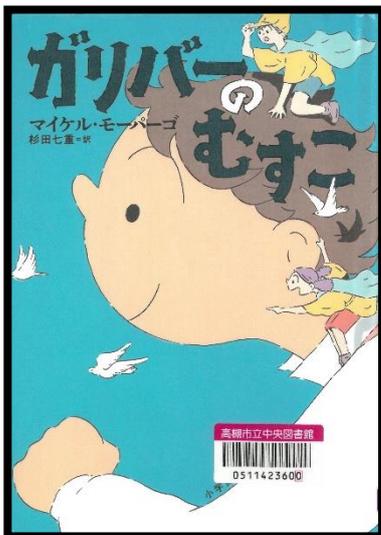
ベティ・G・バーニー／作  
尾高 薫／訳 ももろ／絵  
偕成社〔933パニ1〕

ハンフリーは、ロングフェロー小学校26番教室で飼われているハムスターです。週末になると、生徒や先生が順番に家に連れて帰って世話をしてくれます。

人の言葉がわかるハンフリーは、生徒や先生の悩みや、困っていることに気がつくと、じっとしてられません。なんとかしようとかっそりケージからぬけ出します。

学校ハムスターが、問題を次々に解決していく物語。シリーズは3巻まであります。

## ガリバーのむすこ



マイケル・モーパーゴ／作  
杉田 七重／訳  
小学館〔933モパ〕

戦争で故郷のアフガニスタンをおわれた少年オマールは、母とともにイギリスをめざします。ところがボートが途中で嵐にあい、オマールがたったひとりで流れ着いたところは、小さな人たちの国リリパットだったのです。

リリパットは300年前にガリバーが訪れた国で、オマールはガリバーの息子と呼ばれ歓迎されます。平和で友好的なリリパットの人たちと接するうちに、オマールはたくさんのことを学びます。

そんなある日、リリパットと対岸の国ブレフスキュとの間に争いが起こっていることを知ったオマールは、何か自分にできることはないかと考えます。